

かわさき 図書館だより



図書館ホームページ: <https://www.library.city.kawasaki.jp/>

令和元年度 川崎市立図書館 読書普及講演会

金原瑞人氏『案外知られていない翻訳の話』

川崎市立図書館では、読書の楽しさを知っていただくため、毎年読書普及講演会を開催しています。

今年は法政大学教授で翻訳家の金原瑞人さんをお迎えし、『案外知られていない翻訳の話』と題してご講演いただきます。

金原さんの500点を超える訳書には、絵本から長編小説、有名作品から知る人ぞ知る初めて日本に紹介された作品まで、実に様々なものがあります。また、日本に「ヤングアダルト」「ティーンズ」というジャンルを紹介された方でもあり、10代向け読書案内などの著作もあります。このように海外文学を精力的に紹介されている金原さんに、翻訳の難しさや海外文学の魅力などをお話しいただきます。

講演会に先立ち、川崎市立図書館では金原さんの翻訳作品等を集めた特集コーナーを設けています（分館・閲覧所を除く。期間は各館にお尋ねください）。今年の秋は、海外文学に親しんでみてはいかがでしょうか。

- 日時** 令和元年10月18日（金）
午後6時30分～8時15分
- 会場** 中原市民館 2階 多目的ホール（武蔵小杉駅下車 徒歩5分）
- 定員** 350名（全席自由）
- 申込み** 9月25日（水）午前10時から、いずれかの方法でお申込みください。（先着順）
- 1) 川崎市立図書館・分館・閲覧所にある申込書にご記入の上、各館の所定のカウンターまでお持ちください。整理券をお渡しします。お1人2枚まで。
 - 2) 中原図書館（044-722-4932）までお電話ください。2名分まで。
- 問合せ** 中原図書館（電話 044-722-4932）

講師紹介

金原 瑞人（かねはら みずひと）

1954年岡山市生まれ。法政大学教授・翻訳家。訳書は児童書、ヤングアダルト小説、一般書、ノンフィクションなど500点以上。訳書に『不思議を売る男』『青空のむこう』『さよならを待つためのために』『国のない男』『リンドバーグ 空飛ぶネズミの大冒険』、エッセイ集に『サリンジャーにマティーニを教わった』、日本の古典の翻案に『雨月物語』『仮名手本忠臣蔵』など。HPは<http://www.kanehara.jp/>



写真：根津千尋

川崎フロンターレと本を読もう！



馬渡選手による読み聞かせ

川崎市立図書館では、「読書のまち・かわさき」事業の一環として、J1リーグで活躍する地元のサッカークラブ「川崎フロンターレ」との協働により、読書への関心を促進する取組を行っています。

この事業は今年で11年目を迎えました。

読書イベント「フロンターレ選手と本を楽しもう！」

9月15日（日）に、子ども夢パークで「フロンターレ選手と本を楽しもう！」を開催しました。当日は、馬渡選手とひろん太を迎え、小学1～3年生の子どもたちを中心に、選手による絵本の読み聞かせやクイズを楽しんでいただきました。

馬渡選手に読んでいただいた本

『ピーターのおてがみ』（エズラ・ジャック・キーツ／さく）

『へんしんトンネル（大型絵本）』（あきやまただし／作・絵）

リーフレット「キックオフ！読書のまち かわさき」Vol.11

フロンターレ選手が推薦する本を掲載したリーフレットを今年も作成しました。今回のテーマは、「手紙にまつわる1冊」。川崎フロンターレの『クラブ創立23周年特別企画！「23（フミ・文）企画」』にちなみ、手紙にまつわる本を、選手たちがコメント付きで紹介しています。川崎市立図書館で配布中ですので、ぜひ手に取ってご覧ください。



©川崎フロンターレ